

日本学術会議・心の先端研究と心理学専門教育分科会主催

日本心理学会 第75回大会シンポジウム

「心の先端研究の現在と未来」

とき

2011年9月17日(土) 9時30分～11時30分

ところ

日本大学文理学部 4号館1階411教室

プログラム

企画者・司会者：積山 薫、西田真也

開会の辞・趣旨説明 積山 薫 分科会幹事

<話題提供>

- 9:30- 9:55 積山 薫 (熊本大学) 「認知過程の可塑性と発達的变化の諸相」
9:55-10:20 西田 真也 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所) 「視覚心理研究の現在と未来」
10:20-10:45 坂上雅道 (玉川大学) 「判断にかかわる2つの神経回路」
10:45-11:10 亀田達也 (北海道大学) 「集合知の機序:ミツバチ、食べログ、文化市場」

<指定討論> 11:10-11:25

原田悦子(筑波大学)
今井むつみ(慶応義塾大学)
佐倉統(東京大学)

<総合討論> 11:25-11:30

企画趣旨：「人間とは何か」「人間とはどのように振る舞うべきか」という問いと向き合い、また現代社会の諸問題を解決するためにも、心の科学的理解は極めて重要な課題である。その中核をになう心理学において、生命科学や理工学の知見や手法の取り入れは徐々に進んできているが、独自の知見や手法を他の学問分野に伝える役割はまだ果たせていない。ここでは、このような心理学の先端研究の現状と今後の課題や方向性について、第一線の研究者の研究報告と問題提起に基づいて議論する。本シンポジウムは、日本学術会議心理学系会員によって提案されたWISH構想に基づいており、今後の心理学をになう若手研究者の育成のあり方についても方向性を見出したい。そのため、若手研究者からの発言を期待している。

お問い合わせ：hq@kokoro-japan.org

日本学術会議・心の先端研究と心理学専門教育分科会HP: <http://www.kokoro-japan.org/>

